

名称等	古文書解読入門講座を開催します!!
実施日時	平成 30 年 9 月 1 日(土曜日) 9 時 30 分～11 時 30 分
場所	沼津市明治史料館 2 階 講座室 住所:沼津市西熊堂 372-1
担当	沼津市教育委員会事務局 文化振興課 沼津市明治史料館 直通 055-923-3335 FAX 055-925-3018

1 内容

初めて古文書に触れる歴史ファンを対象に、親しみやすい郷土の資料をテキストとして、かんたんな古文書を読めるようになるための入門講座を開催します。

江戸時代の沼津地域の地方(じがた)文書を読むので、江戸時代の沼津の様子や暮らし、暦や干支などがわかるようになります。

日時:9月の毎週土曜日 連続5回(9月1日、8日、15日、22日、29日)
各回とも午前9時30分～11時30分

2 目的・理由

- ・自分の手で歴史をひもとく楽しさを味わいながら、古文書の文化的な価値を知るきっかけとします。
- ・講座を終了した方々が自主講座(初級講座・五期の会)を作り、毎月勉強を続けています。
- ・古文書の読み手として、博物館での解読ボランティアとして活躍されることも期待しています。

3 経緯・経過

開館翌年の昭和60年から毎年5回シリーズで開催しています。

4 申込方法

平成30年8月10日(金)から電話または直接 先着30名

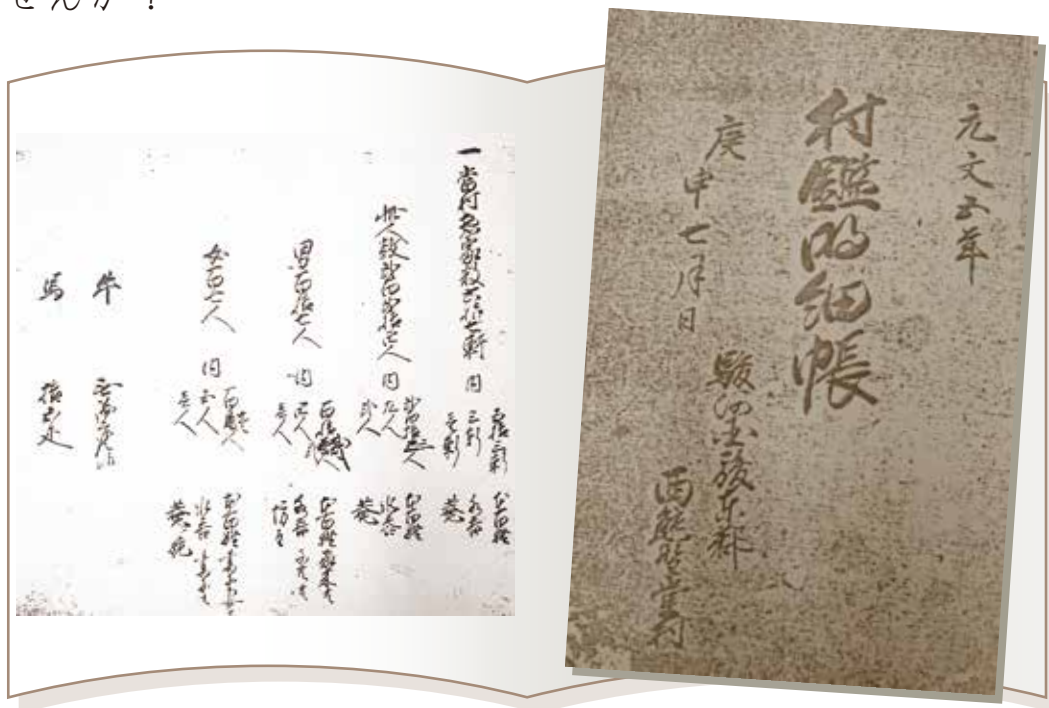
5 昨年の様子



古文書入門講座開講のお知らせ

はじめて古文書に触れたいと思っている方に、江戸時代の村明細帳などをテキストにして、くずし字などの読解力を身につけていただける講座です。

古文書を通して江戸時代の沼津の歴史や暦・元号などに触れてみませんか？



- | | |
|-----|---|
| 日時 | 9月1日、8日、15日、22日、29日
毎週土曜日（全5回）
9時30分から 11時30分 |
| 場所 | 明治史料館 2階講座室 |
| 受講料 | 無 料 |
| 講師 | 大庭 晃（明治史料館非常勤職員） |
| 持ち物 | 筆記用具、辞書（くずし字辞典など持っている人） |
| 受付 | 8月10日（金）9時から
電話、または館へ直接お申込み下さい。 |
| 定員 | 30名（定員になり次第締め切ります） |

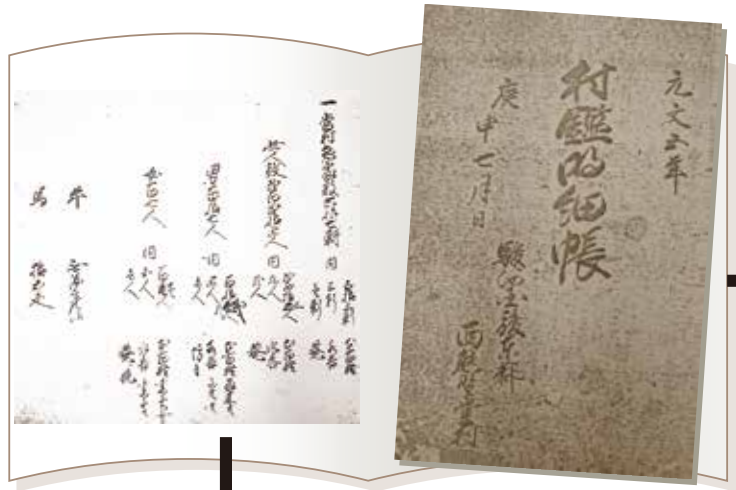


沼津市明治史料館

〒410-0051 沼津市西熊堂 372-1 電話 055-923-3335

たとえば

ほんの一部ですが **こんなことがわかります！**



元文五年
 庚申七月日
 駿河国駿東郡
 西熊堂村
村鑑明細帳

元文5年は西暦 1740 年

十干十二支

(じゅつかんじゅうにし) でいうと、
庚 (かのえ)
申 (さる)
の年だというのがわかります。

十二支は知ってるけど
十干って何？

*十干十二支で有名なのが

「丙午 (ひのえうま)」

この年は災いが多く、丙午生まれの
女性は夫を殺すという迷信があります。

この頃の西熊堂は、
当然のことながら沼津市では
なくて、駿東郡西熊堂村です。

村鑑 (むらかがみ) 明細帳

村から領主に提出した村のことを詳しく書いた
書類のこと。

- 村高 (むらだか) — 米などの収穫量
- 反別 (たんべつ) — 田畑の広さや質
- 家族 — 一家の軒数
- 人別 (にんべつ) — 一人の数や身分
などを書き付けたもので、時代や村により牛や
馬の数、橋や鉄砲の数、医者や寺社の数など、
細かく書いたものもあります。
当時の村に様子が窺える貴重な資料です。

西熊堂村の家数は全部で 67 軒

内訳 — 53 軒 本百姓
(自分の土地を持っている)
3 軒 水呑百姓
(自分の年を持っていない)
1 軒 庵
(お坊様とその世話をす
る人がいたようです)

男女別で見ると 男性 117 人
女性 107 人

合計 224 人の住人がいたことがわかります。
また、牛はいないけれど、馬は 15 頭いたこ
とも書かれています。

壱 (一)、弍 (二)、拾 (十)
なんて、祝儀袋などを書くとき
くらいしか使いませんよね！

馬	牛	女百七人	男百拾七人	此人數弍百弍拾四人	一当村物家數六拾七軒
拾五疋	無御座候	内 五人	内 四人	内 弍人	内 三軒
		壱人	壱人	弍人	壱軒
		本百姓妻子下女共	本百姓家来共	本百姓	本百姓
		水呑妻子共	坊主	水呑	水呑
		庵ノ姥		庵	庵